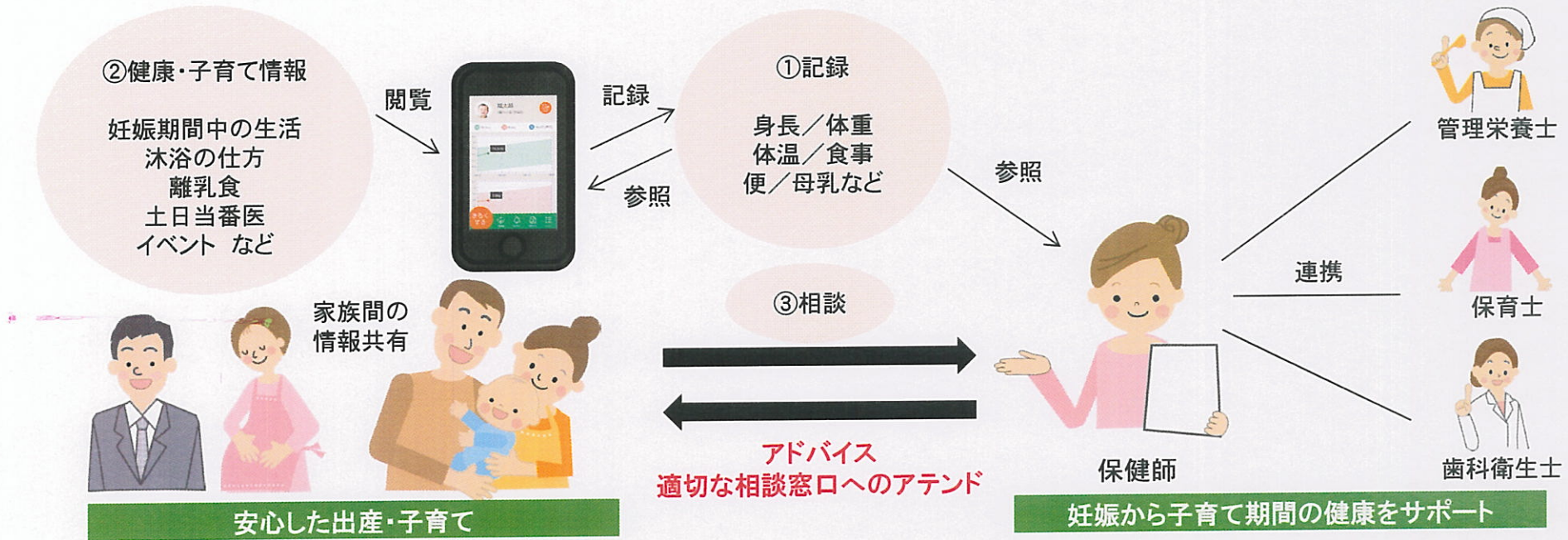


家族健康手帳アプリ実施概要

1 目的	家族健康手帳アプリの活用により、妊娠期間中や育児期間における不安を解消し、安心して産み育てる環境を構築する。
2 対象	妊婦、育児中の父母など
3 特徴	<p>(1) 家族で育児等の記録の共有</p> <p>同じID、パスワードを利用して、記録した情報を家族で共有 <記録できる項目></p> <p>① 身長/体重/体温/ミルク/母乳 ⇄ 数値で記録 ② 便/食事 ⇄ 写真で記録 ⇒記録した情報はタイムラインで表示</p> <p>※H27 アプリ利用者（市職員約 10 人）からの要望で一番多かった『自由記述できる機能（育児日記等）』を今年度中に追加予定</p> <p>(2) 保健師など専門家に相談 （アプリによる相談に市が対応するは全国的に珍しい） 妊娠期間中の過ごし方や子育てに関することなどの相談が可能。 <相談対応体制></p> <ul style="list-style-type: none"> ●アプリ利用者からの相談に保健師が対応。（開始当初は2名体制） ●保健師は(1)の記録（身長、体重、母乳、便等）を参照し、管理栄養士や歯科衛生士、保育士等と連携してアドバイスを返信するほか適切な相談窓口を案内・紹介 <p>⇒利用者は、アプリ上で返信内容を確認</p> <p>(3) 市内の子育てや健康に関する情報を発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ●母子手帳交付時や母親学級・ペア学級、乳幼児健診における配付資料の閲覧が可能 ●上記のほか、土日の当番医や市内のイベントに関する情報等を配信 <p>⇒教育委員会（子ども課）や子育て支援センター、ひなたっ子、あそびの広場（振興いわみざわ）と連携した情報配信</p>
4 開始日	平成 28 年 5 月 25 日（水）
5 周知方法	<ul style="list-style-type: none"> ●ホームページ ●広報 6 月号（COI の特集の中で紹介） ●パンフレット配布 <p>⇒母子手帳交付/母親学級/ペア学級/赤ちゃん訪問/乳幼児健診 時など</p>
6 個人情報	<ul style="list-style-type: none"> ●アプリの登録にはメールアドレスが必要 ●氏名はニックネーム可であるため、生年月日は入力するものの個人は特定されない
7 利用料	アプリは無料、通信料は利用者負担
8 その他 (導入経過)	<ul style="list-style-type: none"> ●H27. 8 プレリリース（市職員約 10 名） ●H27.12 利用者による意見集約結果を北大 COI に報告 ●H28. 2 相談機能の活用等について北大 COI と協議 ●H28. 4 相談対応の体制構築

家族健康手帳アプリ

安心して産み育てる環境構築を目的とした、妊婦や育児中の父母と保健師などの専門家をつなぐコミュニケーションツール



①妊娠期間や育児の記録を家族で共有



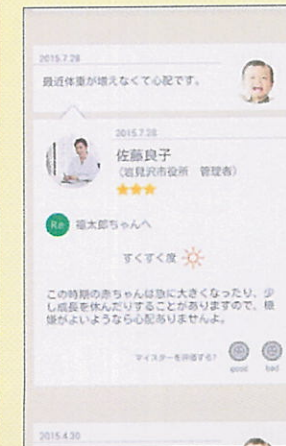
家族で同じID、パスワードを利用すると、記録した身長や体重、食事の写真などを共有できる。
 体重の記録は、自分の健康管理にも活用できる。

②健康や子育てに関する情報の配信



妊娠期間中に実施する母親学級・ペア学級や出産後の乳幼児健診に配布する資料をアプリで閲覧できる。
 土日の当番医や市内のイベントに関する情報も配信。

③保健師などの専門家に相談



妊娠期間中の過ごし方や子育てに関することなど相談できる。
 保健師は、管理栄養士や保育士、歯科衛生士などと連携し、①の記録を参照してアドバイスを返信するほか、適切な相談窓口を回答。